

センター通信

NO. 376 令和8年8月27日
発行 東大阪市教育センター

「探究」と「対話」
「トライ＆エラー」



「まず、使ってみる」から始まる学び～Google for Education 「コア研修」～

今年度、本市では児童生徒用端末がiPadからChromebookに変わりました。新しい環境の中で、子どもたちの学びをよりよいものにしていくためには、先生自身も学び、試し、授業での活用を考えていくことが大切です。教育センターでは、7月30日・31日に Google for Education 「コア研修」を実施しました。研修では、Google ClassroomやGoogle フォームなどを実際に操作し、先生役だけでなく児童・生徒役としても体験しながら、授業や校務での活用について考えました。



子どもから見た画面が分かり、授業で使うイメージが持てた。
2学期から実践していきたい。

子どもたちは自分たちで端末を使いながら学んでいる。私たち教員も日々学んでいかなければならないと感じた。

ICTを使うこと自体が目的ではありません。子どもたちにとって、より分かりやすく、より学びやすい授業にするために、先生方は日々、学び、試し、工夫を重ねています。

今回の研修でも、「2学期から授業で実践したい」「学校でも共有したい」など、学びを次の実践につなげようとする声が多く聞かれました。

教育センターでは、これからも先生方とともに学びながら、子どもたちのよりよい学びにつながる研修や支援に努めてまいります。



1学期の様子

教育支援センター

ふれあいルーム

ふれあいルームでは、東大阪市立小学校・中学校・義務教育学校に在籍し登校しにくい、または登校できない状況にある児童生徒が「安心できる居場所」として、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援を行っています。

【主な活動内容】

学習支援：在籍校と連携しながら、一人ひとりが目標を決め、学習を進められるよう支援しています。
各種プログラム：園芸・創作活動、スポーツ等、多様な活動を通して個別および集団での支援を行います。

心理支援：児童生徒のカウンセリングや、コミュニケーションスキルアップ講座（SST）を実施しています。

学習



園芸



調理実習



スポーツデイ



SST



ふれあいオンラインルーム

ふれあいオンラインルームでは、不登校等の状況にある児童生徒の多様な学びの場として、メタバース内で学習や人と交流する機会を保障し、一人ひとりの社会的自立を支援しています。

【主な活動内容】

学習支援：チャットなどを利用し、先生と通信しながら、それぞれのペースで学習を進められるよう支援しています。
交流活動：クイズやゲームなどのレクリエーションを行う「わくわくタイム」を実施しています。
心理支援：定期的に「こでまり相談室」を開き、子ども同士や相談員と気軽に話せる場を提供しています。

